

お元気ですか？

有田史談会 月例通信

事務局 中村貞光

090-4740-4752

■ 皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？
コロナのニュースと向き合いながらの毎日で、皆様も疲れが見え始めて居られるのではと危惧しているこの頃です。

世界の新型コロナウイルスの感染者数は500万人を越え深刻な状況は依然として続いています。

国内では緊急事態宣言解除が徐々に始まりましたが、韓国のように解除直後に再感染が起きていることもあり一斉解除には慎重にならざるをえません。平穏な日々が一日でも早く戻ることを祈るばかりです。

■ さて、下段の写真は今朝（5.22）の6時前の幸平方面を撮ったものですが、有田ならではの光景です。

他地区ならサイレンが鳴り響き住民が外に飛び出し大騒ぎになるような状況になるのですが、有田の住民には日頃から見慣れた景色です。

煙は今右衛門窯（幸平）の本焼焼成から立ち上るものです。このことを知らない家内は「火事？」と一瞬驚いていましたが、煙の理由を知り安堵していました。



■ 江戸時代の初めに磁器を作り始めた有田の内山地区では窯から上がる煙があちこちで立ち上る光景が日々見られてきましたが、明治時代になると近代窯業の技術が導入され、以来この光景は徐々に無くなっていきました。

現在、松薪による本窯焼成を行っている窯は数か所になりました。

■ コロナ騒ぎで陶器市もなくなり静かな5月がそろそろ終わります。皆様の日常は如何でしょうか？定刻に起きて適度の運動をこなし、三度の食事バランスよく感謝して頂き規則正しく生活しましょう！コロナ対策はこうした規則正しい生活の中で免疫力が養われ打ち勝つことができますよ〜♪

■ 昔から人類は細菌やウイルスとの戦いを繰り返してきました。地球上の生きるもの全てが生き残るための戦いを繰り返し現在があります。

自然界で生きる動物たちは今なお弱肉強食の世界で生きていますが、人類は知恵を絞り研究を重ねて細菌やウイルスに挑んできました。そして抗生物質や抗ウイルス薬を開発し勝利してきましたが、今なおこの戦いには終わりがありません。今後も延々と繰り返すのでしょうか。

■ 現在、日本国内でのコロナ感染者数が少ないのはPCR検査を行っている数が少ないからとの見方が大半を占めていますが、コロナによる死亡者数が少ない現状から推測すると、実際の感染者は少ないことが解ります。また、無症状の感染者もかなりの数にのぼり抗体を有する人も確実に増えていると推測できます。

最終的には、感染がさらに広がり抗体を持つ人が増えることでコロナ感染が収束することになります。

■ 近いうちに有田でも制限解除が始まると思いますが、今秋の第2波に備え、油断せず日頃から感染防止に向けた取り組みを各々が実行することが肝心です。そして元気に再会しましょう！

追伸

先月、月例通信 No.1 をお届けしましたが通常の例会が開催出来ない状況下の緊急避難的な配信ですので駄文ではありますがご寛容に願います。

今回の月例通信 No.2 はコロナ関連の件だけで終わりましたがお許し下さい。

月例通信への投稿は事務局までお寄せ下さい。お待ちしております。

